

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2022年 2月 25日

事業所名：パンキッズ神戸放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動に合わせた適切なスペースを、仕切りやアクリル板等を使用して確保を行い、感染予防にも気をつけて行っている。	(19回答) はい(17) どちらともいえない(1) わからない(1) 「十分に確保されてる」「少し狭い」両方の意見頂きました。	ご利用者様・保護者様に安心して頂ける、環境作りを今後も努めます。
	2 職員の適切な配置	適切な人員配置・専門職の人員配置も行っている。	(19回答) はい(16) わからない(2) 「先生の数は十分に適切」との意見を頂きました。	引き続き適切な人員配置と専門職の人員配置に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	活動スペースをフローリングマットに変更をし、バリアフリーにも努めている。 活動を終了する際は、チャイムを鳴らして切り替えが出来る様にしている。	(19回答) はい(17) わからない(2) 「子ども達が過すには良い環境」との意見を頂きました。	今後も障害の特性に応じた整備環境に努めます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	器具はもちろん手に触れる物は、すべてアルコール消毒を行い、清潔な生活空間を確保している。	(19回答) はい(19) 「清潔な教室」との意見を頂きました。	今後も感染予防・清潔な環境を提供に努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員で話し合う機会を毎日設けている。		積極的な意見が出やすい環境作りを努めます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	同系列事業所・他系列事業所との連携をとっている。		外部評価を活用した、業務改善に努めます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	DVDを視聴する研修を実施している。 個別に受けたい研修会の参加を実施している。		オンライン研修等の対面しなくても大丈夫な研修を取り入れ、独自の研修に努めます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	職員の中で子どもの現状を話し合い正しく理解した上で、保護者の方とお話を設けて、計画書を作成している。		今後も支援計画会議の中で、ご本人やご家族のニーズや課題を分析して、計画書の作成に努めます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの現状や課題を職員間で話し合い、適切な活動を考え支援計画書に反映している。	(19回答) はい(19) 「課題やニーズにあった物になっている」「子どもの事を良く見てくれています。」との意見を頂きました。	個別に課題やニーズを考え、事業所で可能な支援提供に努めます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者の方がわかりやすいように具体的に支援内容を記載するようにしている		常に保護者様にわかりやすく具体的な支援内容に努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員が支援計画書の内容を理解した上で、支援に向き合える様にしている。	(19回答) はい() 「適切な支援だと思う」との意見を頂きました。	支援内容を職員の中で共有し、ニーズや課題に変更があれば、支援内容の変更も話し合える様に努めます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	全体的なプログラムはチームで考えて、毎日の活動プログラムは担当者が考えて役割分担を行っている。		子どもたちの課題を踏まえて、プログラムの立案に努めます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日の短い時間で出来る支援と休日・長期休暇の長い時間を使って出来る支援を分けて考えて行っている。	(19回答) はい(19) 「土曜日の予定を楽しみにしている様子です。」 「長期休暇は毎日違う企画をしてくれています」との意見を頂きました。	平日の短い時間で出来る個別支援には、限界があるので、長期休暇・休日を使って個別支援に努めます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	毎日のプログラムが固定化しないように、役割分担を行っている。		チーム全体で話し合う時間を設け、課題やニーズを踏まえて、日々のプログラムが固定化しない様に努めます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に職員でミーティングを行い、その日に利用するこどもの情報を共有し、その日の役割分担も確認を行っている。		今後も支援開始前のミーティングで、その日に利用するこどもの情報を共有し、その日の役割分担を明確にして支援に努めます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は退社時間となり話し合えない事もあるので、大切な事案は連絡ノートに記載して、支援の気づきに関してはその場にいる職員で共有して、翌日のミーティングで話し合う様にしている。		ご利用者様の送り後、その日のご利用者様の気がかり事を話し合う事は出来ていますが、勤務終了時間も有り対応が翌日に持ち越す事があり、今後の課題。
	10	日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日誌の記録に関しては、支援に携わった職員に、聞きながら正確に実施している。		今後も必要な記録の漏れがないように、二人でチェックを行い、支援の検証・改善が必要かの話し合いも努めていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングと、放課後等デイサービス計画の見直しを行っている。		今後も定期的モニタリングを元に放課後等デイサービス計画の作成に努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議の要請があれば参加している。		他機関からの要請には、今後も積極的に参加して、こちらも必要に応じて依頼する事に努めます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当利用者なし		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当利用者なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	当社児童発達支援事業所と連携を図り、円滑な支援移行をしている。		外部からの通所希望者には、見学・体験を行っている。必要であれば該当施設とも連携を図る様に努めます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	保護者様から了解を得てから、障害福祉サービス事業所等からの要請に応じて、それまでの支援内容等についての十分な情報提供を行っている。		今後ご家族様の意向をお聞きしながら、障害福祉サービス事業所等に円滑に移行出来る様に努めます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	協力が出来る事は、積極的にさせて頂いている。		今後も連携・研修の受講に努めます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナもあり、現在はほとんど交流がない。	(19回答) はい(0) どちらともいえない(5) わからない(10) いいえ(4) 「」	情勢も考慮しながら、交流に努めます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は外出時に挨拶を行う程度。	(19回答) はい(0) どちらともいえない(5) わからない(10) いいえ(4) 「コロナなのでわからない」との意見を頂きました。	ご家族からのご要望も踏まえて、検討する様に努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	連絡ノートや送迎時に通所時のご様子や支援内容を保護者様にお伝えてしている。	(19回答) はい(19) 「何か変更等がある時は必ず書面でお知らせがあり、説明も頂いています。」との意見を頂きました。	今後も送迎時に丁寧な支援内容をお伝えが出来る様に努めます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	ご家族・本人の要望やニーズをお聞きしながら、放課後等デイサービス計画を作成をしている。	(19回答) はい(18) どちらともいえない(1) 「現時点で様子を計画書に、詳しく書いてある。」との意見を頂きました。	放課後等デイサービス計画の支援内容の丁寧な説明に今後も努めます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	相談を受けて提案する事はありますが、ペアレント・トレーニング支援まで出来ていない。	(19回答) はい(10) どちらともいえない(3) いいえ(1) わからない(6)	知識・技術の向上を目指して、ご家族様に提案が出来る様に努めます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	普段から何か変化があれば、保護者様と連絡を取り合って取り組んでいる。	(19回答) はい(17) どちらともいえない(2) 「毎日、様子を説明があり、相談するとその状況に沿った事を話してくれて助かります。」との意見を頂きました。	今後も課題や変化があれば、ご家族様と共有して、取り組んでいく様に努めます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	ご相談には、真摯にお答えしている。	(19回答) はい(15) どちらともいえない(4) 「困っている事がある時は、相談させて頂いております。」との意見を頂きました。	お気軽にご相談をして頂ける様に、今後も努めます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会や、保護者会の開催はない。	(19回答) はい(4) どちらともいえない(3) いいえ(7) わからない(4) 「今はコロナで難しいと思います。」との意見を頂きました。	保護者様からのご要望も踏まえて、検討する様に努めます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情解決及び相談受付を設置して対応している。	(19回答) はい(15) わからない(3) 「その都度、ご報告を受けています。その時に応じた対応を迅速にしてもらっている。」との意見を頂きました。	保護者様からの苦情・相談があった場合は、迅速かつ適切な対応に努めます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	意思疎通をする為に、色々なツールを使用して試みている。	(19回答) はい(18) わからない(1)	学校やご家庭での試みを参考にして、目線・サインを見逃さない様に努めます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会報の発行・インターネットを使い保護者様に情報を発信している。	(19回答) はい(19) 「定期的に活動紙を受け取って活動や様子をみています。」	個人情報に配慮しながら、子ども達の日々の活動や行事等を発信が出来る様に努めます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	細心の注意を払い管理している。	(19回答) はい(18) わからない(1)	個人情報の取り扱いには、細心の注意を払う様に努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルをすぐに出せる場所に保管	(19回答) はい(19) 「その都度、説明を頂いています。」との意見を頂きました。	職員にマニュアルの確認を周知徹底に努めます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練と共に、災害の怖さも伝えていきます。	(19回答) はい(18) わからない(1)	ご利用者様の全員が参加できる様に、複数回に分けて行う様に努めます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員全員に虐待を防止する為の研修を行い、虐待防止に対しての話し合いを設けている。		虐待を防止する為の研修を職員全員に行い、虐待への知識・意識を高める事に努めます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当利用者なし		やむを得ず身体拘束が必要な場面があった場合に、適切な対応ができる様に努めます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	ご家族様からの食物アレルギーの情報を頂いたら、職員に情報共有を徹底して、対象者のお子様とその食物に触れない様に周知徹底をしている。		ご利用者様のアレルギー表を作成して、職員が目にする所に掲示し、普段から適切な対応ができる様に努めます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの共有と再発防止策を職員ミーティングで話し合っている。		ヒヤリハットが発生したら、職員で共有し再発防止策を話し合い、再発防止に努めます。